

# ◎自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服

「流域治水」の考え方にに基づき、あらゆる関係者が協働して水災害対策を行うとともに、堤防整備、ダム建設・再生などの治水対策をより一層加速

## 主要要望内容

### ●流域治水の推進

#### ・総合的な治水・利水対策の推進

【石狩川（札幌市など）、千歳川（千歳市など）、十勝川（帯広市など）、天塩川（天塩町など）、  
 幾春別川総合開発事業（三笠市）、雨竜川ダム再生事業（幌加内町）、糠平ダムの有効活用（上士幌町）、  
 佐幌ダム再生事業（新得町）、望月寒川（札幌市）、利根別川（岩見沢市）、堀株川（共和町）、  
 湯の川（函館市）、気門別川（伊達市）、安平川（下流工区）（苫小牧市）、真沼津川（新ひだか町）、  
 イブンベウシ川（鷹栖町）、雨竜川（幌加内町）、古丹別川（苫前町）、クサンル川（稚内市）、  
 無加川（北見市）、伏古別川（帯広市）、釧路川（釧路市など）、別保川（釧路町）など】

#### ・高潮・侵食・津波対策などの海岸保全施設整備

【胆振海岸（白老町）、大津海岸（豊頃町）、豊浜海岸（北見市）】

#### ・土砂災害対策施設の整備

【辺別川（美瑛町）、支湧別川（遠軽町）、ペンケオタソイ川（新得町）、ペケレベツ川（清水町）など】

#### ・粘り強い構造の堤防の整備推進～堤防天端舗装

【斜里川（斜里町）、利別川（足寄町など）など】

## <道内の流域治水プロジェクト>

◎北海道開発局と道が連携しながら流域治水の取組を推進

### 流域治水プロジェクト策定状況 （令和5年3月31日現在）

- 一級水系（プロジェクト策定済13水系）
- 二級水系（プロジェクト策定済41水系）
- 二級水系（プロジェクト未策定189水系）  
※流域治水協議会をR5.3末までに全て設置

### ▼流域治水協議会



### <二級水系安平川での対策事例>

#### ▼河道掘削等の河川整備



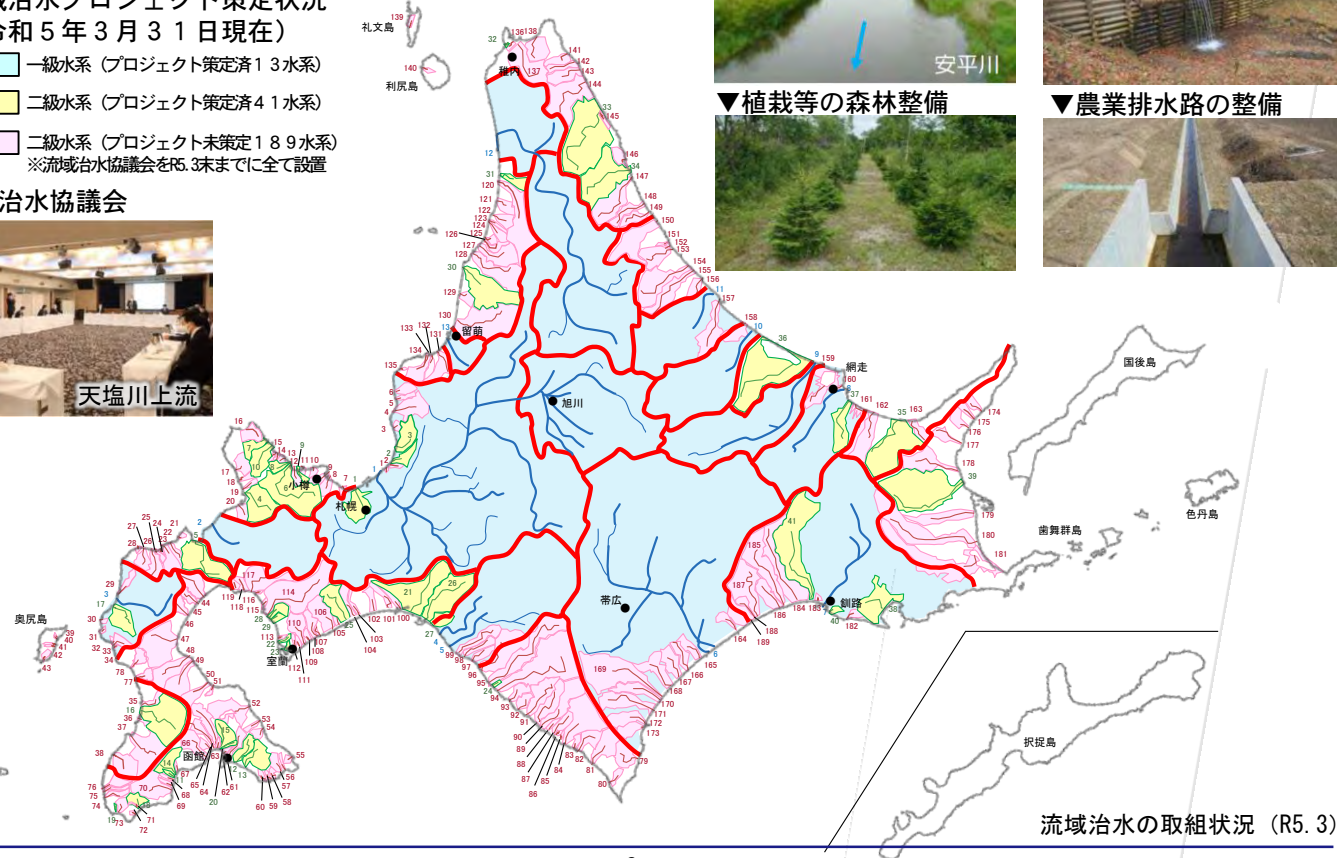
#### ▼植栽等の森林整備



#### ▼治山ダムの整備



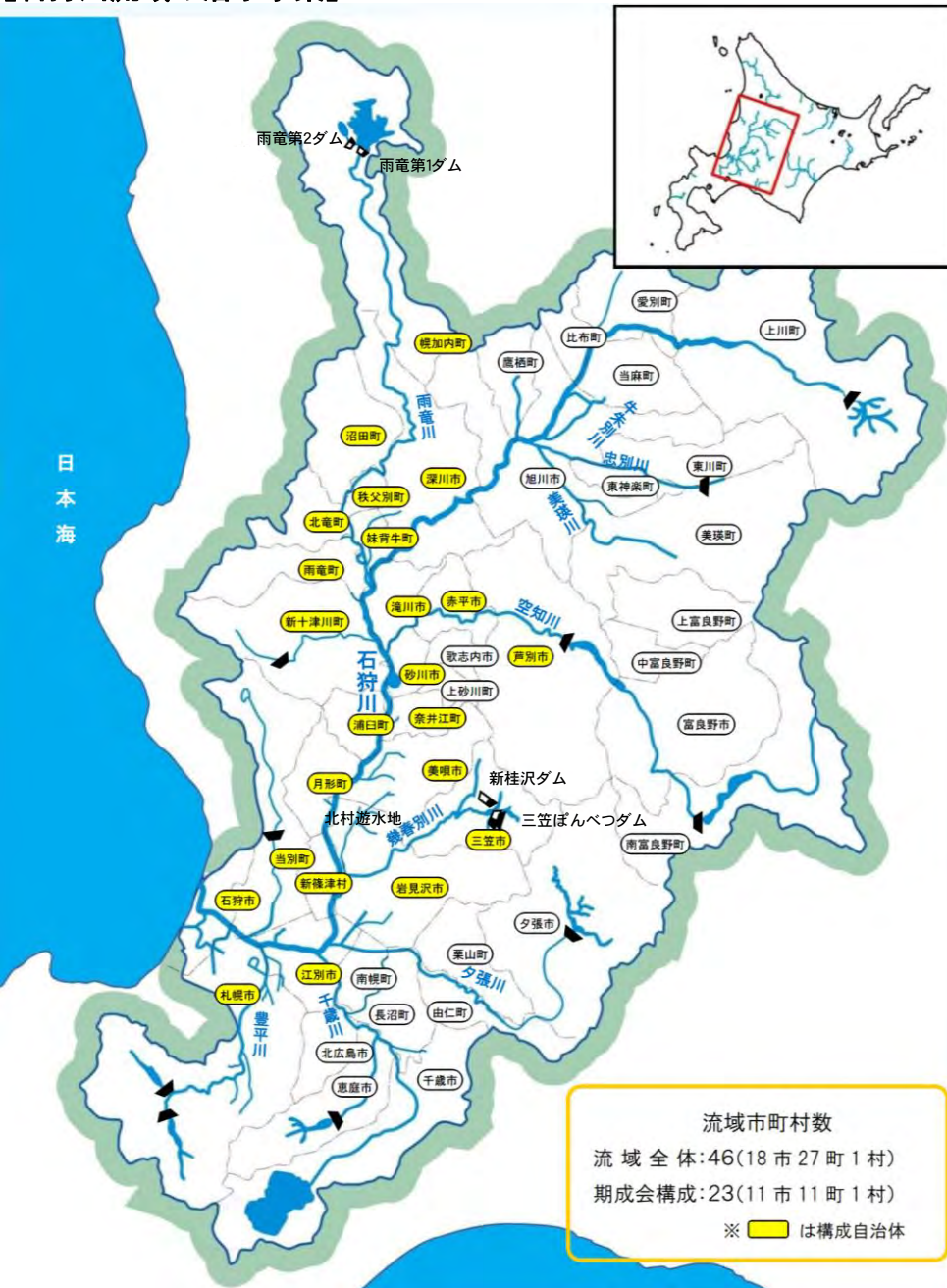
#### ▼農業排水路の整備



流域治水の取組状況（R5.3）



【石狩川流域の治水事業】



▼雨竜川ダム再生事業



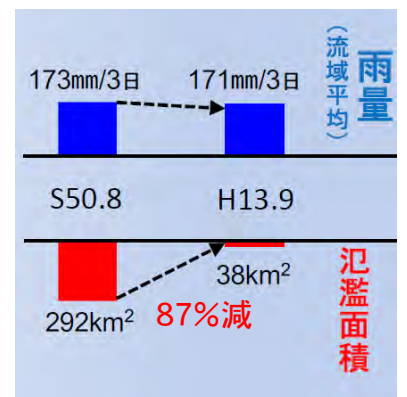
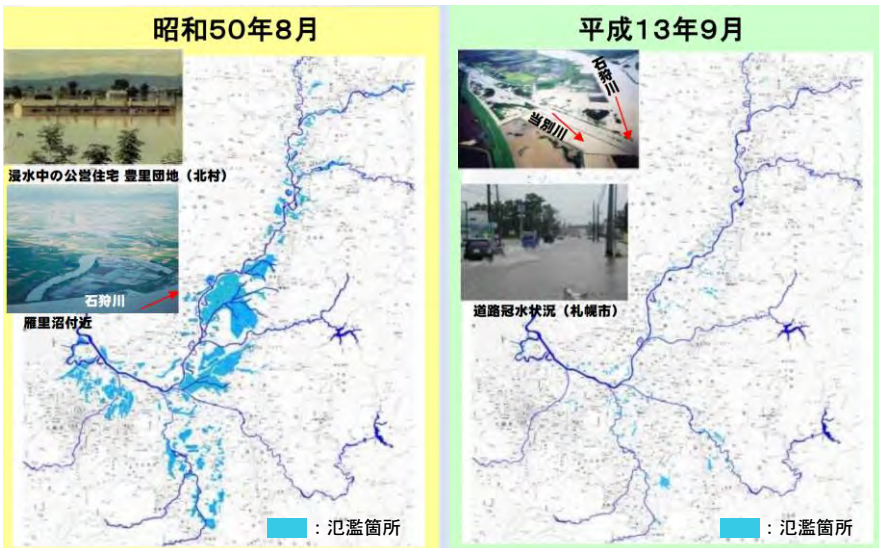
▼幾春別川総合開発事業



▼北村遊水地事業 (石狩川)



▼平成13年9月洪水



平成13年9月洪水は昭和50年8月洪水と同規模の降雨量だったが、治水事業等の進捗により、**氾濫面積は大きく減少**。



もつきさむかわ

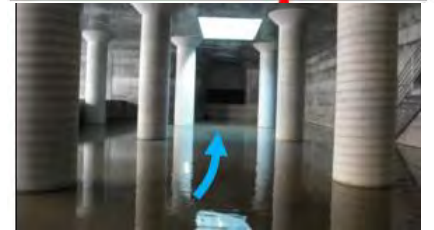
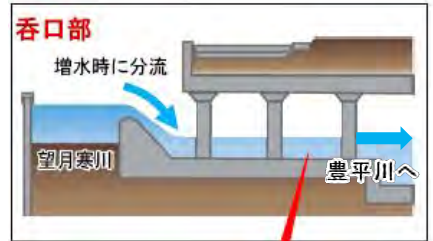
【望月寒川放水路トンネル事業】

【望月寒川放水路トンネル】

- 概要：望月寒川の洪水を豊平川側へ分流するための延長約2kmの地下トンネル構造の放水路

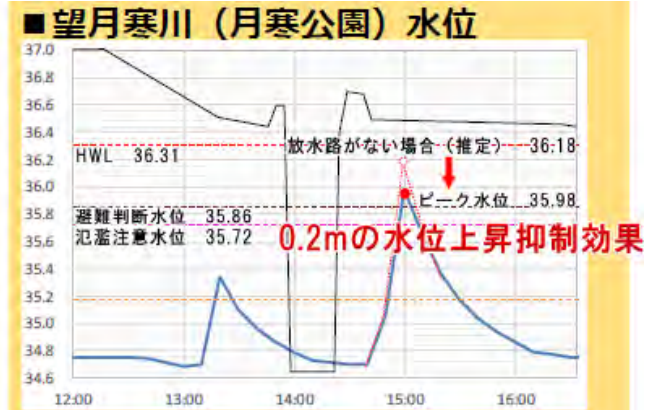


▼放水路トンネル整備



▼令和3年8月の集中豪雨

令和3年8月4日局所的な集中豪雨により、50mm/h以上の雨量強度を観測。整備中の望月寒川放水路トンネルへ分流することにより、望月寒川の**水位上昇を0.2m抑制**する効果を発揮。



■放水路トンネルへの緊急分流





## 【主な事業箇所】

### ▼湯の川（函館市）



被災状況

令和4年8月豪雨による被害状況



【事業効果】  
河道掘削や護岸の整備などにより、流域の住民の生命・財産を洪水による被害から守る。

### ▼真沼津川（新ひだか町）



被災状況

平成28年8月豪雨による被害状況



整備後

【事業効果】  
河道掘削や護岸の整備などにより、流域の住民の生命・財産を洪水による被害から守る。

### ▼佐幌ダム再生事業（新得町）



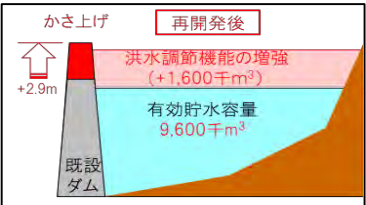
被災状況

平成28年8月台風による被害状況



整備後

既設佐幌ダムの再開発（堤体のかさ上げ）



【事業効果】  
ダムのかさ上げで貯水容量を増やすことにより、下流域の住民の生命・財産を洪水による被害から守る。

### ▼大津海岸（豊頃町）



被災状況

津波の遡上  
津波の遡上により住宅が浸水

平成23年東北地方太平洋地震津波による浸水状況

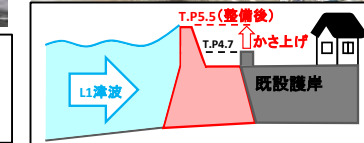


整備前



整備後

【事業効果】  
護岸の整備により、住民の生命・財産を津波による被害から守る。



### ▼支湧別川（遠軽町）



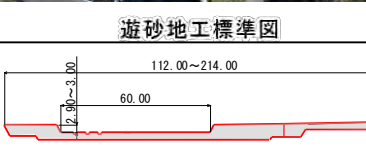
被災状況

平成23年9月台風による被害状況



整備状況

支湧別川の土砂災害対策（遊砂地工）



【事業効果】  
遊砂地工などの砂防施設を整備することにより、下流域の住民の生命・財産を土砂災害から守る。

### ▼ペケレベツ川（清水町）



被災状況

現河道  
土石流の流下

平成28年8月台風による被害状況



整備状況

【事業効果】  
遊砂地工などの砂防施設を整備することにより、下流域の住民の生命・財産を土砂災害から守る。



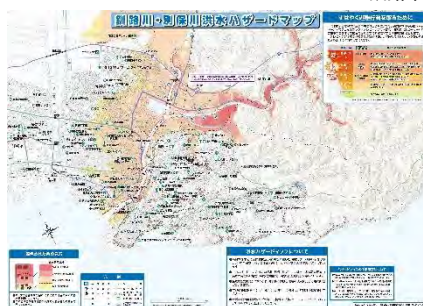
## 【ソフト対策の取組】

### ▼北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策の検討



### ▼ハザードマップの作成支援

釧路市



### ▼高潮浸水想定区域図の公表

根室市



今後、全道沿岸において、高潮浸水想定区域図を作成、公表予定。



# 高規格道路のミッシングリンク解消など災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保 や災害に備えた安全な道路交通環境整備の推進

## 主要要望内容

### ●災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保

- ・ミッシングリンクの解消、国道とのダブルネットワークの強化

【北海道縦断自動車道：美深北～幌延間、北海道横断自動車道：釧路別保～温根沼間、北見東～網走間、黒松内～余市間 など】

- ・暫定2車線の4車線化

【千歳恵庭～十勝清水間、登別室蘭～伊達間、国縫～八雲間、和寒～士別剣淵間】

### ●災害に備えた安全な道路交通環境の整備

- ・避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策などの整備

【国道228号白神防災（福島町・松前町）、国道229号乙部防災（乙部町）、国道239号霧立防災（苫前町）、国道236号野塚防災（広尾町）、国道274号清瀬防災（日高町）、奥尻島線（奥尻町）、泊共和線（泊村・共和町）、滝之町伊達線（伊達市・壮瞥町）、網走公園線（網走市）、大岸礼文停車場線（豊浦町）、上向別浦河停車場線（浦河町）など】

- ・都市災害を防止するための無電柱化の推進

【稚内天塩線（稚内市）、本町大通（八雲町）など】

## 【災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保】

### 北海道の(旧名称)高規格幹線道路

凡例	例
高規格道路	
供用中(4車線)	■ ■ ■ ■
供用中(2車線)	■ ■
事業中	■ ■ ■ ■
未着手	○ ○ ○ ○
凡例(4車線化優先整備区間)	
事業中	■ ■ ■ ■
未着手	○ ○ ○ ○

**未着手区間**  
 ・北海道 **20%**  
 ・全国(北海道を除く) **3%**

北海道調べ

＜暫定2車線の4車線化＞  
和寒～士別剣淵間

＜暫定2車線の4車線化＞  
千歳恵庭～十勝清水間

＜ミッシングリンクの解消＞  
＜国道とのダブルネットワークの強化＞  
蘭越～倶知安間

＜暫定2車線の4車線化＞  
国縫～八雲間

＜ミッシングリンクの解消＞  
＜国道とのダブルネットワークの強化＞  
七飯藤城～七飯間

＜暫定2車線の4車線化＞  
登別室蘭～伊達間

＜ミッシングリンクの解消＞  
＜国道とのダブルネットワークの強化＞  
東静内～三石間

＜ミッシングリンクの解消＞  
＜国道とのダブルネットワークの強化＞  
中川～天塩間

＜ミッシングリンクの解消＞  
＜国道とのダブルネットワークの強化＞  
女満別空港～網走間

＜ミッシングリンクの解消＞  
＜国道とのダブルネットワークの強化＞  
別保～尾幌間

## 【避難路や緊急輸送道路の整備】

▼奥尻島線（奥尻町）



令和5年7月の大雨による土砂及び立木流出

## 【危険箇所の防災対策】

▼国道229号（乙部町）



令和3年6月に発生した岩盤の崩壊

## 【都市災害を防止するための無電柱化】

▼稚内天塩線（稚内市）

